

- 問1 アメリカの米生産に関する統計では、1ヘクタール当たりの収穫量が6.69トンと高く、農民一人当たりの生産量も多い上、世界最大の米輸出量を記録しています。このように、アメリカが国際的な競争力を持つ農業を実現できている理由として、背景にある仕組みを正しく説明しているものはどれですか。（2018年 静岡県公立入試 類似）
- 国内の食料自給率が低いため、政府が補助金を投入して輸出専用の農作物を強制的に作らせているため。
 - 気候区分に合わせた適地適作を行い、広大な土地で機械化による大規模な生産を行っているため。
 - 一戸当たりの耕地面積をあえて小さく制限し、家族経営による丁寧な手作業を重視しているため。
 - 熱帯雨林を切り開いたプランテーションにおいて、安価な労働力を大量に雇用しているため。
- 問2 アメリカ合衆国の地理的条件について、港湾都市と面している海洋の関係を説明した文として正しいものはどれですか。（2020年 埼玉県公立入試 類似）
- 東海岸に位置するワシントンD.C.付近はインド洋に面しており、アメリカ大陸との交流の拠点となっている。
 - 西海岸に位置するサンフランシスコは太平洋に面しており、日本などアジア諸国との貿易が盛んである。
 - 東海岸に位置するニューヨークは太平洋に面しており、ヨーロッパ諸国との結びつきが強い。
 - 西海岸に位置するロサンゼルスは大西洋に面しており、ハリウッドなどの産業が発展した。
- 問3 アメリカ合衆国では、1970年代以降、北緯37度より南の地域で新しい工業が急速に発達しました。この北緯37度線を境界として南側に広がる、温暖な気候に恵まれた工業地域の呼称を選んでください。（2015年 兵庫県公立入試 類似）
- スノーベルト
 - サンベルト
 - シリコンバレー
 - 既存工業地帯
- 問4 ロッキー山脈などの「新期造山帯」に属する山脈が、一般的に高く険しい地形を持っている理由として、最も適切な仕組みを説明したものはどれか。（2017年 茨城県公立入試 類似）
- 古生代に形成された山脈が、長年の風雨による侵食を受けて平坦化したため
 - 氷河時代に大陸全体が厚い氷に覆われ、地表が削り取られて鋭利になったため
 - プレートの境界付近で造山活動が活発であり、地層の隆起が現在も続いているため
 - 大陸の内部でプレートが離れ、巨大な溝（地溝帯）の周囲が盛り上がったため
- 問5 北アメリカ大陸の西側に位置するロッキー山脈や、南アメリカ大陸の西側に位置するアンデス山脈など、太平洋を取り囲むように連なる比較的形成年代が新しく、険しい山々が続く地帯を何と呼びますか。（2023年 福島県公立入試 類似）
- アルプス・ヒマラヤ造山帯
 - 環太平洋造山帯
 - 古期造山帯
 - 安定陸塊
- 問6 アメリカ合衆国の農業就業者数は約241万人で穀物収穫量は約3億5693万トン、対する日本の農業就業者数は約125万人で穀物収穫量は約1173万トンという統計があります。このデータから算出される、農業就業者1人当たりの穀物収穫量の差と、その背景にあるアメリカの農業の特徴を組み合わせたものとして正しいものはどれですか。（2021年 長野県公立入試 類似）
- 1人当たりの収穫量はアメリカが日本より約140トン多く、狭い土地に多くの肥料と労働力を投入する集約的な農業が展開されている。
 - 1人当たりの収穫量はアメリカが日本より約140トン多く、広大な農地で大型機械を利用する大規模農業が展開されている。
 - 1人当たりの収穫量はアメリカが日本より約170トン多く、適地適作の考えに基づき、特定の農産物を専門的に生産している。
 - 1人当たりの収穫量はアメリカが日本より約1400トン多く、バイオテクノロジーを用いた品種改良により生産性を高めている。
- 問7 アメリカ合衆国の人口構成の変化とその背景について説明したものとして、最も適切なものはどれですか。近年の統計では、メキシコが最大の移民送り出し国となっており、それ以外にもアジア諸国やカリブ海諸国からの流入が目立っています。（2022年 兵庫県公立入試 類似）
- メキシコや中南米、さらにはアジア系移民の増加により、国内でスペイン語が広く使われるなど、多様な文化が共存する社会となっている。
 - 北方の隣国であるカナダからの労働者が製造業の現場を支えており、北米自由貿易圏の形成を背景に人口移動が固定化されている。
 - 移民のほとんどがヨーロッパ出身者で占められていた19世紀以前の状態に戻りつつあり、宗教や言語の多様性は失われつつある。
 - かつての奴隷貿易によるアフリカ系の人々の流入が現在の人口増加の主因であり、移民による構成の変化は限定的である。
- 問8 アメリカ合衆国では、メキシコなどの中南米諸国から移住してきた人々が急増しており、特定の言語を用いる彼らが社会や文化に大きな影響を与えています。このような、主にスペイン語を話す移民やその子孫を総称して何と呼びますか。（2018年 群馬県公立入試 類似）
- アフリカ系アメリカ人
 - アジア系移民
 - ヒスパニック
 - ネイティブアメリカン
- 問9 ある地域の気候を統計資料から分析すると、年平均気温は13.5度、年降水量は1148.8mmでした。この地域の雨温図では、12月と1月の降水量が最も多い一方で、6月から8月にかけては降水量が著しく減少し、乾燥した状態が続いています。このような気候が人々の暮らしや農業に与える影響として、適切な説明はどれですか。（2024年 奈良県公立入試 類似）
- 一年中高温多湿であるため、広大な熱帯雨林を利用した焼畑農業が中心となっている。
 - 夏季の乾燥に強いオリーブやブドウ、コルクがしなどの樹木作物の栽培が盛んに行われる。
 - 夏季の豊富な降水と高温を利用して、二期作による稲作が盛んに行われる。
 - 冬季の寒さが厳しいため、永久凍土が広がり、トナカイの遊牧が行われる。
- 問10 パナマ運河周辺の年間降水量の推移と、運河の水源となる湖の水位変化を示した統計資料において、降水量が平年を大きく下回る時期が続くと、連動して湖の水位も大幅に低下している状況が見られます。このような気候条件の変化が、パナマ運河の運用に与える直接的な影響として最も適切な説明はどれですか。（2025年 静岡県公立入試 類似）
- 周辺海域の海水温が上昇することで霧が発生しやすくなり、視界不良による通行禁止措置が取られる。
 - 水源地の水位低下により、船舶の積載重量の制限や、1日あたりの通行隻数の削減が行われる。
 - 降水量の減少によって運河沿いの地盤が乾燥して緩み、土砂崩れによる航路の閉塞が頻発する。
 - 湖の淡水が不足することで運河内の塩分濃度が上昇し、船体の腐食を避けるために大型船が回避を始める。
- 問11 アメリカ合衆国の北東部から中西部、特に五大湖周辺に集積する自動車工業について、統計上の特徴や貿易の動向を説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2025年 東京都公立入試 類似）
- 人口千人あたりの自動車保有台数が約860台と非常に高く、自由貿易協定を活用してカナダやメキシコなどの隣国への輸出を盛んに行っている。
 - 広大な国土のため自動車の需要は高いが、自由貿易協定による関税の影響を避けるため、隣国への輸出よりもアジア市場を優先している。
 - 国内産業を保護するため特定の一国のみの企業が生産を独占しており、主にアフリカなどの発展途上国への輸出に力を入れている。
 - かつては五大湖周辺で盛んであったが、現在はすべての工場がサンベルトへ移転したため、北東部での生産は完全に行われなくなっている。